



## 2023年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月8日

上場会社名 鳥越製粉株式会社

上場取引所 東 福

コード番号 2009 URL <http://www.the-torigoe.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 鳥越 徹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 中川 龍二三

TEL 092-477-7112

四半期報告書提出予定日 2023年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	13,239	10.5	613	4.4	834	0.0	556	0.7
2022年12月期第2四半期	11,980	5.9	641	19.9	835	18.6	560	10.3

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 704百万円 (20.8%) 2022年12月期第2四半期 890百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	23.93	
2022年12月期第2四半期	24.09	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	41,808	33,896	81.0
2022年12月期	41,593	33,543	80.6

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 33,870百万円 2022年12月期 33,517百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期				15.00	15.00
2023年12月期					
2023年12月期(予想)				14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2022年12月期期末配当金の内訳 鳥越グレインホールディングス株式会社設立記念配当1円00銭

### 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,750	13.7	1,300	5.5	1,540	2.9	1,050	12.7	45.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(注)詳細は、添付資料P.9「会計方針の変更」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期2Q	26,036,374 株	2022年12月期	26,036,374 株
期末自己株式数	2023年12月期2Q	2,759,183 株	2022年12月期	2,763,107 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期2Q	23,274,208 株	2022年12月期2Q	23,273,352 株

(注)当社は、取締役等に対する株式報酬制度を導入しており、株式交付信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績予想等の将来に関する事項は、現時点で当社が入手している情報や合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は種々の要因により大きく異なる場合がありうることをご承知おきください。業績予想に関する事項は、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(四半期連結損益計算書) .....	6
(四半期連結包括利益計算書) .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、経済活動の正常化を背景に個人消費の増加やインバウンド需要の回復など、景気は緩やかに回復してきております。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による原材料価格やエネルギー価格の高騰を発端とした世界的なインフレや、欧米各国の政策金利引き上げに伴う景気後退懸念など先行きは不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、消費者マインドはコロナ禍以前の状態に戻りつつあるものの、物価上昇による個人消費の減退懸念、原材料価格や電力費の高騰など引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況にあつて当社グループは、中期経営計画「TTC150 Stage2」の最終年度として、将来の持続的成長に向けた諸施策に取り組みました。

当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は132億3千9百万円(前年同期比10.5%増)と、第2四半期としては過去最高の売上高となりました。

収益面につきましては、原材料価格の上昇や電力費をはじめとする各種コストの増加等により、営業利益は6億1千3百万円(前年同期比4.4%減)、経常利益は8億3千4百万円(前年同期比0.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億5千6百万円(前年同期比0.7%減)となりました。

単一セグメント内の区分別の状況は次のとおりです。

#### (食料品)

①製粉については、業務用小麦粉の出荷数量が増加したことに加え、2022年4月に実施された輸入小麦の政府売渡価格引き上げに伴う製品価格の値上げや副産物のふすま販売価格が堅調に推移したこと等により、売上高は57億6千2百万円(前年同期比17.7%増)となりました。

②食品については、ミックス製品の出荷数量は減少しましたが、製品価格の値上げ等により、売上高は36億4千万円(前年同期比4.5%増)となりました。

③精麦については、出荷数量は減少しましたが、販売価格の上昇等により、売上高は30億5千8百万円(前年同期比6.3%増)となりました。

#### (飼料)

飼料については、出荷数量は減少しましたが、販売価格の上昇等により、売上高は7億5千6百万円(前年同期比7.8%増)となりました。

#### (その他)

その他については、受取保管料の減少等により、売上高は2千万円(前年同期比2.6%減)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は418億8百万円となり、前連結会計年度末比2億1千5百万円増加しました。この主な要因は、現預金、投資有価証券が増加し、受取手形及び売掛金、原材料及び貯蔵品が減少したことなどによるものです。

また、負債合計は79億1千1百万円となり、前連結会計年度末比1億3千7百万円減少しました。この主な要因は、支払手形及び買掛金、固定負債(繰延税金負債)が増加し、借入金が減少したことなどによるものです。

純資産合計は338億9千6百万円となり、前連結会計年度末比3億5千2百万円増加しました。この主な要因は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金の増加などによるものです。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は110億2千8百万円となり、前連結会計年度末比3億4千5百万円増加しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、14億5百万円の収入(前年同期は8億2千9百万円の収入)となりました。この主な要因は、売上債権、棚卸資産の減少などにより資金が増加した一方、法人税等の支払などにより資金が減少したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億3千1百万円の支出(前年同期は1億6千5百万円の支出)となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、6億2千7百万円の支出(前年同期は6億2千4百万円の支出)となりました。この主な要因は、長期借入金の返済、配当金の支払などによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

- ① 下半期におきましては、4月に輸入小麦の政府売渡価格が引き上げられたことに加え、電力料や物流費等の上昇を反映し、6月20日納品分から業務用小麦粉の値上げを実施しましたが、販売競争は一段と激しさを増しており、今後も厳しい経営環境が続くものと思われまます。当社グループといたしましては、中期経営計画「TTC150Stage2」の達成に向けて、グループ役職員一丸となって取り組んでまいります。
- ② 2023年12月期業績予想及び配当予想につきましては、2023年2月13日に公表しました業績予想から変更ありませんが、原料価格と製品価格の動向等により今後の業績に重要な変更が予想される場合には、適時適切に開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,482,407	8,829,061
受取手形及び売掛金	4,053,322	3,781,056
有価証券	2,261,500	2,261,500
商品及び製品	1,501,544	1,414,189
原材料及び貯蔵品	5,294,025	5,195,512
その他	118,934	183,384
貸倒引当金	△2,263	△1,995
流動資産合計	21,709,470	21,662,710
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,804,852	1,804,152
機械装置及び運搬具(純額)	1,322,090	1,403,403
土地	6,749,586	6,749,337
その他(純額)	189,488	184,017
有形固定資産合計	10,066,017	10,140,910
無形固定資産		
無形固定資産合計	236,777	231,538
投資その他の資産		
投資有価証券	9,426,110	9,637,818
その他	218,618	204,030
貸倒引当金	△63,864	△68,744
投資その他の資産合計	9,580,865	9,773,104
固定資産合計	19,883,660	20,145,554
資産合計	41,593,130	41,808,265
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,191,082	1,223,716
短期借入金	1,546,237	2,023,235
未払法人税等	340,543	274,847
役員賞与引当金	19,606	6,828
その他	921,970	1,028,253
流動負債合計	4,019,439	4,556,880
固定負債		
長期借入金	1,302,949	571,377
退職給付に係る負債	16,255	17,028
役員株式給付引当金	26,199	31,188
その他	2,684,556	2,735,337
固定負債合計	4,029,960	3,354,932
負債合計	8,049,400	7,911,813

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,805,266	2,805,266
資本剰余金	2,766,940	2,766,940
利益剰余金	24,758,278	24,960,842
自己株式	△2,081,017	△2,078,491
株主資本合計	28,249,469	28,454,559
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,268,390	5,415,480
その他の包括利益累計額合計	5,268,390	5,415,480
非支配株主持分	25,870	26,411
純資産合計	33,543,730	33,896,451
負債純資産合計	41,593,130	41,808,265

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	11,980,205	13,239,335
売上原価	9,492,587	10,781,895
売上総利益	2,487,617	2,457,439
販売費及び一般管理費	1,846,098	1,844,056
営業利益	641,518	613,382
営業外収益		
受取利息	333	293
受取配当金	155,725	166,391
固定資産賃貸料	11,249	25,352
その他	39,169	40,923
営業外収益合計	206,479	232,961
営業外費用		
支払利息	9,829	8,249
設備賃貸費用	—	2,763
その他	3,037	368
営業外費用合計	12,866	11,381
経常利益	835,131	834,963
特別利益		
固定資産売却益	49	—
特別利益合計	49	—
特別損失		
固定資産除却損	645	1,400
減損損失	499	248
投資有価証券売却損	15	—
特別損失合計	1,160	1,648
税金等調整前四半期純利益	834,021	833,314
法人税、住民税及び事業税	265,919	274,064
法人税等調整額	8,131	1,797
法人税等合計	274,051	275,861
四半期純利益	559,970	557,453
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△778	541
親会社株主に帰属する四半期純利益	560,748	556,911



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	559,970	557,453
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	330,130	147,090
その他の包括利益合計	330,130	147,090
四半期包括利益	890,100	704,543
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	890,878	704,001
非支配株主に係る四半期包括利益	△778	541

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	834,021	833,314
減価償却費	312,348	319,339
減損損失	499	248
のれん償却額	8,809	8,809
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△66	4,612
受取利息及び受取配当金	△156,059	△166,684
支払利息	9,829	8,249
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,182	△12,778
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,056	772
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	7,247	7,559
売上債権の増減額(△は増加)	235,248	272,265
棚卸資産の増減額(△は増加)	△543,010	185,867
仕入債務の増減額(△は減少)	246,000	32,633
有形固定資産除売却損益(△は益)	595	1,400
投資有価証券売却損益(△は益)	15	—
未払賞与の増減額(△は減少)	139,138	149,073
その他	△176,559	△84,116
小計	907,933	1,560,567
利息及び配当金の受取額	156,214	166,839
利息の支払額	△10,031	△8,424
法人税等の支払額	△224,606	△313,403
営業活動によるキャッシュ・フロー	829,510	1,405,578
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△47,918	△43,618
定期預金の払戻による収入	46,717	42,418
有形固定資産の取得による支出	△163,981	△423,126
有形固定資産の売却による収入	50	—
無形固定資産の取得による支出	△1,106	△7,286
投資有価証券の取得による支出	△189	△189
投資有価証券の売却による収入	59	—
貸付けによる支出	—	△100
貸付金の回収による収入	—	100
その他	1,029	59
投資活動によるキャッシュ・フロー	△165,338	△431,742
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△3,000	△3,000
リース債務の返済による支出	△28,341	△19,222
長期借入金の返済による支出	△268,622	△251,574
自己株式の取得による支出	△32	△45
配当金の支払額	△324,522	△353,968
財務活動によるキャッシュ・フロー	△624,519	△627,811
現金及び現金同等物に係る換算差額	839	△570
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	40,491	345,454
現金及び現金同等物の期首残高	12,079,222	10,683,080
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,119,714	11,028,534

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。